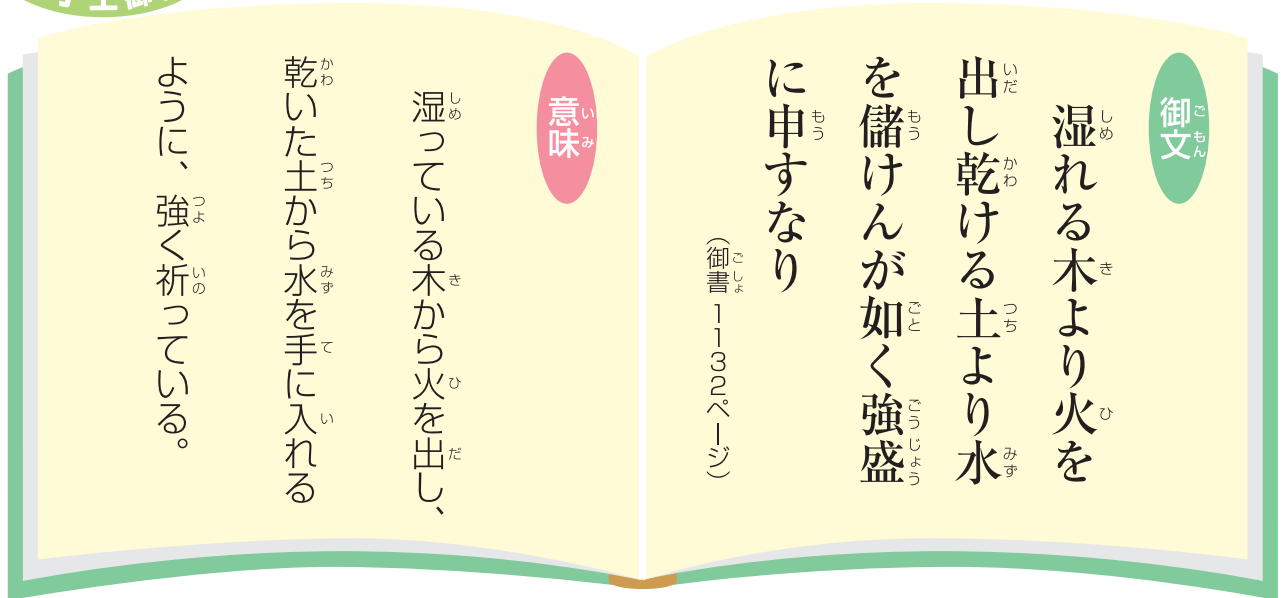




6月度の御書

か しゃく ほう ぼう めつ ざい しょう 「呵責謗法滅罪抄」



ように、強く祈っている。

乾いた土から水を手に入れる

湿っている木から火を出す、

意味

に申すなり

(御書 1132ページ)

を儲けんが如く強盛

出し乾ける土より水

湿れる木より火を

御文

しん けん いの ゆめ 真剣な祈りで夢をかなえよう！

やあ！ ボクはライオン博士のキング君。
今回は、「火」と「水」のお話を通して、「不可能
を可能にする祈り」について学んでいくよ！

強い気持ちで——

御文を順番にみていこう。初めに「火」のお話。
火って今ではライターで簡単につけられるけど、昔
は乾いた木と木を素早くすり合わせて、火をおこして
いたんだ。この時、木が水で湿っていると火はつかない。

でも、御文で日蓮大聖人は、「湿っている木から火
を出す」と言われているね。

そして次は「水」のお話。

たとえば、カラカラに乾いた砂ばくを思いうかべて
みて。水なんてどこにもない。だけど御文では、「乾
いた土から水を手に入れる」と言われているよ。

どちらも、そんなことは不可能だって思うよね。

今回の御文で何が言いたいのかということ、ふつうは
不可能だと思うことを、「可能にしてみせる！」とい
う強い気持ちで祈る大切さを教えられているんだ。

お題目には「不可能を可能にする」すごい力がある。

でも、その力を引き出すのは、祈る人の「真剣な心」
なんだよ。

たとえば、夢に向かって挑戦している時。なやみの
“壁”にぶつかった時。御本尊に向かって、「絶対に
かなえてみせる！」「絶対に乗り越えてみせる！」と
強い気持ちで祈っていこう。そうすれば必ずかなって
いくよ！

師匠の心とは——

「湿った木から火を出す！」「乾いた土から水を手
に入れる！」

それほどの強い気持ちで、日蓮大聖人は、どんなこ
とを祈られていたと思う？ それはね、遠く離れた場
所にいる、弟子たちの幸せだよ。

大切な弟子が、「無事で、幸福であるように！、と、
強い心で祈られていたんだね。

同じように、みんなの成長と勝利を祈ってくれてい
るのが池田先生だよ！

先生は語られているよ。

「私が祈り、エールを送り続けます。君たちがあき
らめそうになっても、私はあきらめません。みなさん
の勝利もまた、私の夢だからです」

さあ、先生と共に、夢や目標に向かって挑戦してい
こう～！